

令和5年度第2回北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備推進会議 議事録

令和6年2月7日(水) 13時30分～15時00分(所要90分)

【出席委員】

(敬称略、順不同)

所属・役職	氏名
北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備推進会議会長	秋松 等
北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備推進会議副会長 (JA新はこだて女性部八雲女性部 部長)	都築 享子
JA新はこだて青年部八雲青年部 部長	柴田 真吾
春日二区町内会	小川 藤芳
山越郡森林組合 代表理事組合長	牧野 仁
落部漁業協同組合 専務理事	鎌田 和弘
八雲商工会 女性部 副部長	大久保 和恵
八雲観光物産協会 事業部会 副部会長	小西 雄一
八雲建設協会 理事	中村 兆
八雲町社会福祉協議会 会長	大野 尚司
若人の集い 事務局長	政田 翔太
公募委員	鈴木 大介
公募委員	稗田 一俊
公募委員	佐藤 馨
公募委員	長谷部 修

【オブザーバー】

所属・役職	氏名
北海道開発局函館開発建設部 道路計画課長 (代理 北海道開発局函館開発建設部 道路計画課 道路調査官)	新井田 勇二 (山中 昌也)
北海道渡島総合振興局函館建設管理部事業室地域調整課 主幹	清水 英夫
北海道渡島総合振興局地域創生部新幹線推進室 室長	大原 晋
北海道警察函館方面八雲警察署 交通課長	林 芳由紀
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局 設備部 建築課 課長	一木 治人
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局 北斗・八雲工事部 八雲工事課 課長	樋口 哲哉
北海道旅客鉄道株式会社 総合企画本部新幹線計画部 主幹 (代理 同社 総合企画本部新幹線計画部 主席)	広田 隆司 (宮澤 拓人)

【八雲町】

所属・役職	氏名
八雲町長	岩村 克詔
八雲町副町長	成田 耕治
政策推進課 課長	川口 拓也
政策推進課 課長補佐	宮下 洋平
政策推進課 新幹線・公共交通係 係長	長谷川 佳洋
政策推進課 新幹線・公共交通係 主任	岡島 孝明



議事録（要旨）

開会	<p>(政策推進課長)</p> <p>本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>ただいまから令和5年度、第2回目となる北海道新幹線、八雲(仮称)駅周辺整備推進会議を開催させていただきます。まず始めに町長より挨拶申し上げます。</p>
町長挨拶	<p>(岩村町長)</p> <p>本日はお忙しい中、第2回北海道新幹線八雲(仮称)駅周辺整備推進会議に出席いただきまして、ありがとうございます。昨年、起工式が終わり、やっと畑の真ん中でありながら新幹線が通るのだという意識となってきました。</p> <p>2018年に植えた葡萄を昨年少し収穫でき、750mlのワインが12本できました。今年の秋にはもう少し葡萄がとれるので、準備を進めています。新幹線開業に向けて、食を推進していきたいと思っています。</p> <p>皆様の意見をいただきながら、新幹線開業に向けて進めていきたい思いをお伝えし、挨拶に代えさせていただきます。</p>
会長挨拶	<p>(会長)</p> <p>本日の会議の資料をみますと、様々な協議や意見を頂く内容となっています。委員の皆さんそれぞれの視点で、忌憚のないご意見を頂ければと思っております。また、関係者の皆さん、本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。それぞれの議論の中で、是非、ご助言やご指導をいただければありがたいと思っております。</p> <p>本日も本推進会議において、よりよい計画を作っていければと思っております。</p>
<p>議題（1） 前回会議等のレビューについて</p>	<p>(会長)</p> <p>それでは、議題に入らせていただきます。議題（1）前回会議等のレビューについて、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>それでは、資料1 前回推進会議等のレビューについて、ご報告します。</p> <p>昨年の8月1日に開催した令和5年度第1回推進会議では、北海道が整備する新幹線駅に通ずるアクセス道路及びロータリー内の配置物をどうするかという点と、八雲町が整備する屋外駐車場の仕様について議論しました。また、新駅舎のデザイン決定方法についても議論させていただきました。推進会議の他、この推進会議として令和5年10月25日に新駅の建設予定地と新幹線のトンネル工事の現場視察も行いました。</p> <p>前回推進会議の主な意見としては、ロータリーの配置物について、屋根には風除けも必要ではないか、駅舎出入口から屋根がバスやタクシー乗り場までつながっていた方がよいのではないかと、道路の照明が眩しすぎないほうがよいのではないかと等のご意見を頂いております。その他、アクセス道路の両サイドに街路樹も植樹してほしいという、地元からのご意見もありました。この点につきましては、事務局と北海道で協議した結果、あそこは道路事業で整備するので、北海道としては街路樹を植樹するというのは困難というご意見をいただいております。</p> <p>屋外駐車場については、雪や雨にあたらぬように屋根がほしい。屋根部分に関しては有料でも使うといった意見もありました。これらのご意見を受けて、今のところ</p>

	<p>八雲町としては、屋外駐車場の一部に屋根を整備して、その部分を有料化するという方針としています。</p> <p>新駅舎デザイン決定方法については、事務局からは中高生のみを対象としたアンケートを提案しましたが、各委員から、アンケート対象者を絞ると限られた意見になってしまう一方、将来を見据えて若年層の意見に委ねてもいいのではといった様々な議論や意見が出まして、昨年の推進会議で結論が出せませんでした。まとめ方としては、委員の多数決にはせず、デザイン決定方法は事務局に一任することだったと思いますので、本日の会議の最後に、デザインの決定方法等を後ほどご報告します。</p> <p>現地視察については、実際に駅周辺整備予定地において、鉄道・運輸機構から提示された駅舎デザインを見ながら現地をみることでイメージしやすくなった等の意見を伺っています。</p> <p>参考資料として、協議中のロータリー配置物の資料を掲載しています。駅舎周辺の環境整備の方向性としては、駅舎と調和した相乗効果のある環境創出やバリアフリーとメンテナンス性に優れた施設の整備を方向性として検討いただいています。同様に、シェルターやベンチ、乗降場のサイン、照明や歩道に使う舗装材についても、推進会議で出た意見を参考に、北海道に検討いただいています。例えば、グレードアップ版となるカラー舗装の工事費負担は町が負担しない方向で検討が進んでいます。照明については、北海道では道路管理者として必要な局部照明のみ設置ということですので、歩道用のシェルター照明をつける場合は、北海道からは八雲町で負担してほしいと言われていますが、シェルターに照明が必要となった場合は、八雲町としては道路整備として要望したいと思っています。説明は以上となります。</p>
<p>議題（１）に対する意見等</p>	<p>（会長）</p> <p>ただいまの説明は、前回の推進会議において協議された内容であります。これに対して何かご意見はございますか。ないようですので、次の議題に移ります。</p>
<p>議題（２） ワークショップ開催結果について</p>	<p>（会長）</p> <p>続きまして、議題（２）ワークショップ開催結果について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（事務局：ドーコン）</p> <p>高校生ワークショップの開催結果をご報告させていただきます。新駅周辺整理計画を進める為に、八雲高校を対象としたワークショップを令和５年９月及び１０月の計２回実施しました。ワークショップのテーマは、①八雲町のいいところ、悪いところ、②新幹線の開業に期待すること、③新八雲（仮称）駅前にあったらいいものの３つとし、２グループに分かれて意見を頂きました。</p> <p>各グループの意見を報告します。まずは、Ａグループの主な意見です。テーマ①の意見は、良い点として、食べ物がおいしいこと、自然がきれい、函館から札幌間のアクセスの中継地点になりえる等が挙げられていました。一方、悪い点として、交通手段が少ないこと、遊ぶ場所や人にお勧めできる場所が少ない等が挙げられておりました。テーマ②の意見は、自分たちにとってプラスの効果が期待されることとしては、行動範囲が広がる、通勤がしやすい、里帰りがしやすいということが挙げられており</p>

	<p>ました。地域にとってもプラスの期待については、観光客や町民の増加に伴い、想定される波及効果として、観光客が増える、八雲町の人が増える、そうしたことで、公共交通の利便性が高まる、八雲の文化が広がるといった期待が考えられるということが挙げられておりました。他にも、新幹線整備に求めることとして、飲み物だけでなく食べ物も買えるような自販機が欲しいといったことも意見も出ていました。</p> <p>続いて、Bグループの主な意見です。テーマ①の意見は、良い点として、豊かな自然、コミュニティがあたたかい、食べ物が美味しいといった意見が挙がっておりました。悪い点は、観光、娯楽施設が少ないといったことが出ていました。テーマ②の意見は、自分にとってプラスの期待は、移動時間が新幹線によって短縮されること、行動範囲が拡大されるといったことが挙げられておりました。地域にとってもプラスの期待は、利便性のアップ、交流人口の増加等が挙げられておまして、それらによる波及効果として、流行がより早く入ってくる、若い人が過ごしやすくなるのでは、という意見が挙げられておりました。</p> <p>続いて、テーマ③の意見として、Aグループでは、駅舎の外に欲しいといったものは、ガラス張りのレストランやカフェ、スポットを設置してはどうかといった意見、また駅舎の中には木彫り熊の博物館やペコちゃんブース、駅舎の中や外には自動販売機、また町を巡る仕組みとしては、バスで八雲町を巡れるようなフリー切符が欲しいといった意見が挙げられておりました。Bグループでは、日常的に町民が利用したいものとして、商業施設、地元の人との交流の場。町民も観光客も利用できるものとしては、シンボル、ペコちゃんの観光施設などが挙げられておりました。観光客を呼び込めるものとして、地域の物産販売施設、あと木彫り熊を作れるような体験プログラム等が挙げられておりました。報告は、以上となります。</p>
<p>議題（2）に対する意見等</p>	<p>（会長）</p> <p>高校生ワークショップの開催結果につきまして、感想やご意見があればお願いします。高校生ワークショップの意見で挙げた内容は、今後の計画づくりの参考として、駅周辺整備計画に反映されるかと思っておりますので、今後、推進会議において内容を確認するという認識でおります。では、意見等がないようですので、次の議題に移ります。</p>
<p>議題（3） 駐車場案について</p>	<p>（会長）</p> <p>続きまして、議題（3）駐車場案について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（事務局：ドーコン）</p> <p>新駅の駐車場配置図案の概要を説明します。案1が基本計画の内容に基づき配置検討した駐車場となります。案1は普通自動車102台駐車できる計画ですが、駐車台数が足りないのではないかとのご意見を踏まえて検討したものが、案2及び案3となります。案2及び案3は、普通自動車216台駐車できる設定でして、基本計画の倍以上の台数となります。観光バスの駐車場は全案共通で4台分っており、常に前身で展開できる前提で検討しており、バックでの駐車を可能とする場合、今よりもかなりコンパクトに縮小できる案も検討可能です。</p> <p>3案の特徴につきまして、案1は駐車台数が一番少ないので、整備費・維持費を抑</p>

	<p>えられますが、ピーク時に駐車台数が不足する場合にどうするかという課題を抱えております。案2は、形が正方形に近いため、駐車場利用が少ない時期にはイベントとしても利用も考えられます。また、大型バスと一般自動車の動線を明確に分離することができます。さらに、大容量の駐車場を整備することで、競合駅である新函館北斗駅や長万部駅からの需要の転換を考えられる効果もあるかと思われます。一方、想定以上の駐車場を作った割に利用が少なかった場合、過大な維持費や整備費を費やすこととなるのではないかと懸念があります。案3は、案2と同じ台数の駐車場を確保しながら、新幹線の本線と並行で配置した案となります。案2の場合、車から降りた方の駐車場内を歩く距離が長くなりますが、案3のように本線と並行に配置した場合ですと、割と短い距離でたどり着くというメリットはあります。ただ、遠いところに停めると結構な距離が生じてまいります。また、案2と比較し、歩行者の安全性は高くなりますが、歩道の延長が長くなりますので、整備費が高くなるというデメリットが考えられます。</p> <p>本日提案させていただいた案は、駐車マスの大きさを 5.5m×3.0m という比較的ゆとりのあるサイズで検討しています。</p> <p>参考資料として、木古内駅の駐車場の整備状況を示しています。木古内駅は本線を挟み、東、西、北の3か所に駐車場を整備しております。ただ、木古内の場合は、道の駅が駅前に整備されており、東駐車場、西駐車場は主に道の駅の利用者が使う駐車場、新幹線利用者は北駐車場という設定ですが、私も何度か木古内駅を利用していますが、あまり北駐車場は利用されていない印象があります。</p> <p>(事務局)</p> <p>補足説明させていただきます。前回の推進会議において、町としては基本計画を基にした駐車台数 102 台で検討しておりましたが、木古内駅の事例を踏まえると、102 台では足りないのではないかと考え、今回の案をご提示いたしました。</p> <p>新駅は 10m 程度の高架となりますので、新幹線を降りた方がホームから駐車場側を見下ろした場合、極力アスファルトが見えないような仕組みを検討してもいいのではないかと意見を踏まえ、案3を検討しました。</p>
<p>議題(3)に対する意見等</p>	<p>(会長)</p> <p>事務局から説明がありましたが、今回提案のあった3案につきまして、皆様のご意見をいただきたいと思っております。案3は、歩道が約200mあるようで、駅から近い場所に停めた場合はいいですが、遠い場所へ停めた場合なかなか距離があるように思います。</p> <p>一般駐車場を当初案の102台から倍の計画に変更したいということで、案2と案3が提示されました。将来、駅ができた時に、駅前でイベント等があった場合、102台では不足することが考えられるので、駐車台数を増やすという考えは良いのではないかと思います。問題は、駐車場の形状や配置かと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。</p> <p>(委員)</p> <p>新駅は牧歌的な風景を売りにしているので、案2のような四角型の駐車場ではな</p>

	<p>く、案3のような横長の駐車場とすることで景色を損なわないのではないかと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>案2の場合、バスの待機場が駅の遠い場所に配置されているので、アスファルトの部分が、どんと見える状況だと思います。このため、案2のバス待機場を案3のように横に配置してはどうでしょうか。これにより、アスファルトが少しでも見えにくくなるかと思います。</p> <p>(会長)</p> <p>今の配置案とした場合、技術的に問題はないですか。</p> <p>(事務局：ドーコン)</p> <p>問題ありません。今の配置案を検討することはできます。</p> <p>(委員)</p> <p>バックでバスを停める場合、どのくらい面積は削れるのでしょうか。</p> <p>(事務局：ドーコン)</p> <p>現時点で具体的なことは言えませんが、かなり削れると思います。</p> <p>(会長)</p> <p>他にもご意見ありますでしょうか。今、貴重な意見がありましたので、この意見を参考に、後は事務局に検討をお任せすることでよろしいでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>はい。</p> <p>(事務局：ドーコン)</p> <p>弊社の駐車場を検討している担当者から、バックでバスを停める場合、面積は半分くらい削れると回答があったので、報告させていただきます。</p> <p>(会長)</p> <p>バックで停めない場合、4台は止められる。</p> <p>(岩村町長)</p> <p>想定より多くバスが停車するとなった場合にバックを想定すると、この駐車スペースで大型バスが何台くらい止められるか。</p> <p>(会長)</p> <p>そういった（多くバスが止められるよう）余裕を見据えて今の形を提案されているかと思っておりますが、そういった理解でよろしいでしょうか。</p> <p>(岩村町長)</p> <p>その通りです。（それなら問題無しというニュアンス）</p> <p>(会長)</p> <p>他にご意見がないようですので、次の議題へ移りたいと思います。</p>
<p>議題（4） 観光案内施設について</p>	<p>(会長)</p> <p>続きまして、議題（4）観光案内施設について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局：ドーコン)</p> <p>前回の推進会議でもご説明させていただきましたとおり、町としては、高架下を活</p>

用する場合はJRへ賃料を支払う必要が発生するため、高架下以外の場所に観光案内施設を配置する方針で検討を進めております。また、新駅の立地条件を踏まえすと、有人の観光案内機能は費用対効果を見込むことが難しいと考えられます。この点を踏まえ、観光案内施設の導入機能を提案させていただきます。

観光情報発信機能として広域観光案内マップと電子案内板の設置、物販機能として無人売店または自動販売機の設置を提案させていただきました。広域観光マップのイメージは、後ほど事例を交えてご説明しますが、壁面等を活用して八雲町及び広域圏のマップを掲示するイメージです。マップと併せて、観光パンフレットの設置も考えております。こちらのメリットは、大きな画面でマップを示すことにより、駅利用者の方に多く、そして幅広い年齢の方に見ていただけるのではないかと思います。そして、最初に設置すれば維持費がほぼかからないと考えられます。一方、デメリットは、情報を最新のものに変えていく必要がありますので、その手間がかかってしまうということがあります。また、利用客が、誰か人に聞きたいというようなQ&Aの対応をするときには、人がいない、マップと観光パンフレットだけがあるという形なので、コミュニケーションが取ることができないという特徴もあります。

電子案内版は、モニターやタブレットを利用した観光情報発信をイメージしています。メリットは、観光マップでは対応できないようなより詳細な情報提供が可能となります。リモートによる観光案内システムを導入した場合には、観光客と紹介される方の相互のコミュニケーションや、英語での対話なども対応可能と思われます。一方デメリットは、機材のメンテナンス費用の発生や盗難防磁対策を行う必要があります。また、このような電子機器はどんどん新しいシステムが作られていくので、導入してすぐに陳腐化されてしまうリスクがあります。実際にJR函館駅前にも大きなモニターを置いた観光情報案内板が配置されていましたが、数年で撤去されていました。このため導入する場合には、十分検討した上で、費用も含めて考えていく必要があると思います。

物販機能についてです。駅なので、ちょっとした買い物をしたいという方もいらっしゃると思いますが、セルフレジなどによる小規模な無人売店やちょっとしたものが買える自動販売機を設置すると良いのではないかと考えております。メリットは、人件費を抑えつつ、駅利用者のニーズを応えることができる点とテナント収入を得ることができる点です。一方、無人販売は取り扱う商品やサービスの制限、定期的な商品補充や各種メンテナンスを行う事業者の確保というデメリットもございます。

続いて、これらの3点の機能について、参考事例を用いてイメージを紹介させていただきます。まずは、広域観光案内マップの事例です。左上は、北海道新幹線木古内駅の改札前の設置状況です。こちらは広域の地図とその下にパンフレットを置いている形となります。右上は、函館空港の状況でして、こちらもエリアとパンフレットを置いております。左下は、函館空港内の観光案内所として、市内の地図だけではなく、QRコード付きのミニパンフレットを置いています。右下は、大井川の観光案内所となり、こちらは手書きの地図とパンフレットを置いています。ここのパンフレットは、大井川でやるべき100個に絞ったパンフレットを用意し、観光客が100個の中か

	<p>ら、自分で好きなパンフレットをピックアップして、オリジナルの観光ガイドブックを作るというような取り組みを行っています。</p> <p>続いて、電子案内板の事例です。左上は、大阪府和泉市の和泉中央駅の改札前に設置された無人の観光案内所となります。観光案内所に設置された小型のリモート接客システムという観光情報案内板にはマイクが内蔵されており、マイクを通じて観光案内を行えるシステムとなっています。下は、JR佐川駅内の無人観光案内所として、壁や床をラッピングすることで、改札を降りてすぐに八雲はこういう町なのだと伝えられるのではないかと考え、事例を紹介させていただきました。</p> <p>最後に、無人販売または自動販売機の事例です。左側は、新幹線盛岡駅の無人販売店舗の事例です。こちらはもともと無人店舗ではなく、人手不足によりホームにあった売店の店舗を活用して、無人店舗を運営されているという事例になります。利用方法は、利用客が商品のバーコードを読み取って、セルフレジによる電子決済を行うという流れになっております。取扱商品は、飲料、菓子、土産雑貨など300種類を取扱っているのですが、年齢確認が必要なものや搬入に人手が必要な新聞等、一部分については、取扱いを行っていないとのこと。右側は、羽田空港の事例になります。羽田空港では、地域の名産を販売する自動販売機が設置されており、空港に行っただけでいろんな地域の特産品等を購入できます。秋田県の「秋田犬」という自販機がございまして、売り上げの一部が秋田犬の保存保護のために寄付されるというようなこともありました。説明は、以上となります。</p>
<p>議題(4)に対する意見等</p>	<p>(会長)</p> <p>ただいま事務局から説明がありましたが、観光案内施設の機能につきましては、今回初めての議論となりますので、どのような施設や機能があったらいいか、ご意見を頂く方向で議論を進めたいと思います。本日は、どこにどのような機能を配置するのではなく、どのような機能があったらいいかについて、ご意見を頂けたらと考えております。</p> <p>機能を配置すると言っても、駅の中というのは、当然、鉄道・運輸機構さんとの協議が必要だと思います。例えば、自動販売機を駅舎内に置くのは可能かどうか、置くにはどうすると良いのかなど、色々課題がきっとあるのだと思います。本日は鉄道・運輸機構さんが出席されていると伺っておりますので、現在の機能案につきまして、可能性があるかどうかを含めて、教えていただければと思います。</p> <p>(鉄道・運輸機構 一木 氏)</p> <p>紹介いただきました鉄道・運輸機構の一木と申します。事務局の提案にありました、自動販売機や無人売店につきまして説明させていただきますと、基本的に、鉄道・運輸機構としては、新幹線が運行する為に必要なものは我々の方で設置しまして、それをJR北海道さんに貸し付けをし、運営の売上の一部を貸付料として鉄道・運輸機構に払っていただくスキームで行っております。このため、駅舎内に設置する場所に関しましては、鉄道・運輸機構と八雲町だけではなく、JR北海道も交えて、配置可能なスペースがあるか、電源を使うとしたら電源の支払いはどうするか等、こまごましたことを調整していく流れとなります。過去の事例として、駅舎内に町のもの</p>



を置いた事例はございますし、無理な話ではないと思いますが、本日の回答としましては、JR北海道さんとしっかり協議することが大切ということをお伝えさせていただきます。

(会長)

ご説明頂きありがとうございました。

(委員)

個人的な意見となるが、事例にあった黒板に地図を描いた広域観光案内マップが良いと思った。牛舎ではレンガに直接チョークで名前を書いているイメージがあるので、黒板に情報が書けると牧歌的なイメージに繋がるのではないかと思います。

自動販売機は、何気に色々なものを買ってしまいます。結局、本州のような人が集まる駅ではいいかもしれませんが、むしろ街に来て買ってもらった方が、良いと思っています。北海道の駅で、ホームや駅の中で買い物をするお客さんがいるのでしょうか。どちらかと言うと、観光客よりは町民が駅を利用する目的として考えてはどうでしょうか。自動販売機がいいのかわかりませんが、感想を述べさせていただきます。

(会長)

ご意見ありがとうございました。他にはございますか。

(委員)

今、新幹線の車内販売はなくなったので、乗った後に飲み食いたいと言われても対応できない状況です。例えば、喉が渴いた時どうするかとなった場合、必要最小限のものは必要なのではないかと、個人的には思っています。

(会長)

ご意見ありがとうございました。他の方は、いかがでしょうか。

(副会長)

観光パンフレットについては、事例1にありますように、紙媒体やQRコードを併せて設置する必要があると思います。お金がかかることなので、電子案内板までは必要ないと思います。できれば、駅の外ではなく、駅舎内に置いていただきたいです。

高校生の意見にもありましたように自動販売機を置く考えがありますが、羽田空港は普段のお客さんの量が違います。ただ、やはり、水がなければ困ることもあるので、必要最低限の自動販売機を置いていただきたいなと思います。

(会長)

自動販売機に関するご意見でした。ありがとうございます。他はいかがでしょう？あまり指名はしたくないのですが、物産協会のご意見いただけないでしょうか。

(委員)

私自身の商売と少し絡んでいるのですけれども、自動販売機は4台設置し、非常に目立つような形としています。

やはりお客さんに楽しんでもらうことも必要かと思っています。最低限必要なものというのは分かるのですけれども、例えば、木彫り熊や手作り行燈キットを作っている方がいるので、本日話していた自動販売機や無人販売で売っているといいように思いました。

	<p>(会長) ご意見ありがとうございます。皆さん、いかがでしょうか。</p> <p>(委員) 八雲駅に降り立った時に、八雲近郊は一体どういう所なのかが分かるような地図が必要だと思います。事例にありました函館空港にあるような道南地域と函館市内を示した地図のような形で、八雲町と熊石地域の場所が分かる地図とそれぞれのパンフレットを設置するとともに、その周辺に八雲町の物産を並べられるといいかと思えます。</p> <p>自動販売機につきましては、急いで乗った時に水を買って忘れていたり、小腹がすいたりすることがあると思うのですが、そういうものを補充できるような自動販売機があると便利かと思えます。</p> <p>(会長) ご意見ありがとうございます。皆さんの意見を伺っていますと、お金のことに配慮しながら、発言頂いているのではないかと思いました。観光案内所を整備して物を売るのは大変お金がかかるのでかなり厳しいように思います。</p> <p>もう一つだけ聞きたいのが、資料にある無人販売は新幹線ホームに整備されているのですが、こういうことも可能なのでしょうか。</p> <p>(鉄道・運輸機構 一木 氏) ホームに関しては、過去の事例を見てもJRが管轄するもの以外を売ったというのはございません。JRの管理上、非常に難しいかなと個人的には思います。これまでの新幹線駅の事例で言いますと、コンコースの中に、町の特産品を飾るショーケースのようなものを、改札内や改札の外に置かせていただいた事例はあります。こういったことは、場所に余裕があれば、JRとの協議結果ができるかなと思います。自治体さんの案内マップやパンフレットは、JRが運行させるために必要なエリアから余っている部分に置くことはできると思います。いずれにせよ協議次第かと思いますが、ホーム上はちょっと厳しいのではないかと思います。</p> <p>(会長) ありがとうございます。無人販売の事例は魅力的に思いましたが、現実に行う場合厳しいということで、理解しました。</p> <p>これまでにたくさんの委員からご意見がありましたので、本日頂いた意見を踏まえ、事務局へ今後の検討を進めていただきたいと思います。</p>
<p>議題（５） 農業関連施設等の類似事例の整理について</p>	<p>(会長) 続きまして、議題（５）農業関連施設等の類似事例の整理について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局：ドーコン) 新駅の駅舎デザインコンセプトに見合った駅周辺整備を進めるための参考事例といたしまして、牧歌的な風景を維持しつつ、集客を見込める施設としてどのような施設及び機能があるかを把握するために、道内の農業関連施設等に関する計14事例を整理いたしました。計14事例につきまして、それぞれ3部構成で作成していますが、会議</p>

時間を考慮し、概要のみ説明させていただきます。

最初に、観光牧場について説明させていただきます。1つ目は、「ニセコ高橋牧場」の事例です。主な機能は、アイスクリームや洋菓子の販売所やミルク工房、高橋牧場の牛乳を使用したチョコレート販売する施設、アイスクリーム作りが体験できるヨーグルト工房などの施設がございます。

2つ目は、函館市にある「あいす118」です。主な機能は、牛乳を使用しているクリームなどを販売する直売所や、工場見学や酪農体験なども可能となっている施設となっております。

3つ目は、七飯町の「山川牧場ミルクプラント」です。こちらでは、牛乳や乳製品を販売している直売所があります。

4つ目は、弟子屈町の「渡辺体験牧場」です。こちらの機能は、体験牧場ハウスで牧場の牛乳を使用したソフトクリームやお菓子等を販売している施設や酪農・乳製品加工体験が主体となっております。

5つ目は、洞爺湖町の「レークヒル・ファーム」です。こちらでは自家製のジェラートやスイーツを販売している施設のほか、敷地内にはコテージがあり宿泊も可能となっております。

6つ目は、上士幌町の「ナイタイ高原テラス」でして、上士幌町が経営する公共牧場となります。ナイタイテラスでは、景色が一望できる展望カフェが整備されています。

7つ目は、弟子屈町の「900草原」でして、弟子屈町が経営する公共牧場となります。敷地内にはレストハウスや景色を一望できる展望台が設置されている他、敷地の周辺にはパークゴルフ場が整備されています。

次は、景観や立地条件を活かした集客・体験施設について説明します。1つ目は、八雲町の「ハーベスター八雲」です。当施設はみなさんご存じのように、フライドチキンやピザを提供するレストランと、2023年7月に新たに八雲ピザ工房が新設されております。

2つ目は、富良野市の「カンパーナ六花亭」です。株式会社 六花亭が経営する菓子販売や喫茶施設で、六花亭オリジナルの菓子販売やオリジナルスイーツを提供するイーートインがございます。敷地内には、ジンギスカンを食べられる施設も併設されています。

3つ目は、中札内村の「六花の森」です。こちらも株式会社 六花亭が運営しており、広大な敷地のガーデンや、ミニギャラリーが点在している施設となっております。他にも、六花亭の工場や工場に併設されているミュージアムショップ・カフェがございます。六花の森ということで、六花亭の包装紙に書かれている植物がたくさん植えられているガーデンや包装紙のギャラリーなどを多く設置されております。

4つ目は、砂川市の「みんなの工場 by SHIROと砂川工場」という化粧品工場です。こちらは化粧品工場の中に、カフェ、ショップ、子どもの遊ぶスペース等が整備されています。

5つ目は、白老町の「ナチュの森」でして、廃校を活用したミュージアムや廃校の

	<p>グラウンドを活用した有料のナチュラルガーデンといった公園等が整備されています。</p> <p>6つ目は、北広島市の「くるるの杜」は、ホクレン農業協同組合連合が経営する都市農村交流施設です。農村レストランとか農産物の直売所、農作業や調理、加工体験が可能となっております。</p> <p>7つ目は、上ノ国町の「上ノ国ワイナリー」は、上ノ国開発 株式会社が経営するワイナリーとサテライトオフィスです。ここでは、ワイナリーに併設したサテライトオフィスが併設されており、宿泊できる個室タイプも整備されています。</p> <p>最後のページは、これまでに説明した14事例のまとめを掲載しております。説明は以上です。</p>
<p>議題(5)に対する意見等</p>	<p>(会長)</p> <p>農業関連施設の類似事例ということでどの事例であってもあれば最高だと思える施設ばかりでありました。先ほどの観光案内施設に続き、皆さんから良い意見を頂戴出来たらと考えております。</p> <p>(委員)</p> <p>整備されてから20年近く経過した施設ではありますが、加工体験等を行える施設が八雲町立岩にあります。他にも八雲町内には再整備をすれば使える加工施設があると思います。ちょうど私がこの施設のインストラクターもやっておりますのでお話しさせていただきました。そこには、機械は壊れていますがアイスクリームを作る機械やソーセージを作る機械等がありますので、施設の見直しをされてはどうでしょうか。</p> <p>(会長)</p> <p>今お話しいただいた施設を駅前に持ってくるイメージでしょうか。</p> <p>(委員)</p> <p>あの施設を持っていくのは大変だとは思いますが。</p> <p>(会長)</p> <p>本日議論したいのは、新幹線駅を降りて、駅前の賑わいづくりをつくる観点で議論を頂戴いただけたらと考えております。</p> <p>(委員)</p> <p>新駅のコンセプトは牧歌的な風景だと認識しています。なので、余計な人工物は作らないほうがいいのではないのでしょうか。駅の近くには音名川がありますが、音名川が昔のようなサケが遡上する川となれば観光資源になると思っています。</p> <p>(副会長)</p> <p>駅が出来る周辺ですが、特に展望台を作るわけでもなければ、高速道路や線路もあるのでそんなに見晴らしが良い場所というわけではありませんし、そんなに広い空間ではないと思います。</p> <p>そして、駅舎のコンセプトが牧歌的な風景ということで議論が進められているはずですので、先ほどの駐車場の議論であったようなアスファルトがあまり見えないほうがいいのではないかという話もあったぐらい、新駅の周りに色々なものを作る必要はないのではないかと考えております。先ほど委員がおっしゃいましたように、駅では</p>

	<p>なく町中へ人を誘導するような形とした方が、今ある施設を十分に活かす方が良いのではないかと考えております。</p> <p>(会長)</p> <p>ご意見をいただきありがとうございます。ご意見をまとめますと、八雲駅のコンセプトを考えると、駅周辺にあまり手をかけないままの方がいいのではないかというご意見かと思えます。</p> <p>今のご意見に逆行するかもしれませんが、不二家さんとの協議を進めている話を踏まえますと、不二家さんということで、駅前にペコちゃんの大きなモニュメントを置いて、不二家さんの製品を売るといいのではないかという意見を聞いております。そういう場があれば、若い人なら写真を撮ってSNSに情報発信するのではないかとも言っておりました。また、その時に言われたのは、せっかく不二家さんが来るのであれば、ここでしか買えない商品を置くことで、その商品を目当てに来る人もいるという意見がありましたので、1つの意見として紹介させていただきます。</p> <p>その他、ご発言はないでしょうか。ないようですので、本日の意見を参考にしながら、今後の農業関連施設等の検討や誘致をするのかわかりませんが、事務局に進めていただきたいと思います。</p>
<p>議題（6） 新八雲（仮称）駅デザインアンケートについて</p>	<p>(会長)</p> <p>続きまして、議題（6）新八雲（仮称）駅デザインアンケートについて、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>新駅舎のデザインに関するアンケート結果につきまして、ご報告させていただきます。昨年、鉄道・運輸機構より駅舎デザイン3案をご提示いただきました。改めて各案をご説明させていただきますと、A案は「牧歌的原風景を未来への継承する新たな調和の駅」、B案は「雄大な大地と木立の美しさを感じる駅」、C案は「八雲の悠久な営み、情景を映し出す駅」となっております。</p> <p>これらのデザイン案を受けまして、前回の推進委員会においてデザインの決定方法を事務局に一任頂いたということで、事務局内で検討させていただきました。検討させていただいた結果、事務局としてはアンケート調査の対象者は全町民が良いということとなり、調査を実施しました。その中で、若年層の意見ももちろん聞きたいと考えてまして、中高生に対しては、別途、投票を依頼する形で周知させていただいております。また、町外の意見を参考としたいとも考えておりまして、町外の方も投票できるように調査を実施しました。</p> <p>アンケートの募集期間は、昨年の11月1日から17日の17日間で行いました。募集方法は、WEBでの投票の他、スマートフォン等をお持ちにならない方もいるかと思いますので、投票用紙を実際に投票箱に入れてもらう2つの方法で行いました。周知方法については資料に記載のとおりとなっております。</p> <p>得られた回答件数は合計で1,588件。WEBが1,571件で、投票用紙が17件という内訳となっております。結果といたしましては、A案が329件、B案が634件、C案が625件ということで、B案が最も多い結果となっております。</p>

	<p>全体の結果を町内・(八雲管内の) 中高生・町外に分けた分析も行いました。全投票数でみた場合、僅差でB案の方がC案より多い結果になっておりますが、町内の票に絞りますと、B案が 571 票、C案が 449 票となり、差が出る結果となっております。また、中高生だけの結果を見ましても、中高生はA案が 69 票、B案が 152 票、C案が 96 票という結果となっております。八雲町といたしましては、前回の推進会議で会長からもありましたが、基本的にこのアンケート結果を尊重するという形で、駅舎のデザインはB案でいきたいと考えております。もし何か委員の皆さんからご意見があればいただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>議題(6)に対する意見等</p>	<p>(会長)</p> <p>資料の説明が終わりましたが、事務局といたしましては、アンケート結果を尊重すべきという考え方に基きまして、B案に決めたいというご意見でございましたが、本推進会議においてもこのアンケート結果を尊重するという事で、事務局提案のB案で進める方向でよいでしょうか。</p> <p>(委員)</p> <p>事務局の意見で問題はありませんが、町外の方からC案が 176 票も投票されているのが少し気になっております。町外の方は、B案に 63 票しかされていないので、町外の方からはC案が面白いと思われているように感じたので、個人的には、C案のニュアンスを駅周辺のどこか、(例えば) バス停等に加えて頂いたらもう少し面白いのではないかと思います。</p> <p>(会長)</p> <p>ご意見ありがとうございます。他にもご意見やご希望等があればお願いいたします。なければ駅舎デザイン案はB案ということでよろしいですか。</p> <p>(良しという発言あり)</p> <p>1つだけ私から質問したいことがあります。駅舎の出入口にフードは整備されるのでしょうか。</p> <p>(鉄道・運輸機構 一木 氏)</p> <p>フードとはなんのでしょうか。</p> <p>(会長)</p> <p>例えば、駅舎内に入る際、雨や雪などで濡れないようなフードのようなものが整備されているかと思い、伺いました。デザイン案だけでは理解できなかったので質問させていただきました。</p> <p>(鉄道・運輸機構 一木 氏)</p> <p>北海道は寒冷地なので、風除室を設けることを考えております。風除室のイメージは、一度自動ドアで入っていただいた後、もう一度自動ドアで駅コンコースの中に入るといった形です。風除室の目的は、コンコース内を急激に寒くさせないことと、駅利用者が雨に濡れないようにできることです。</p> <p>(事務局)</p> <p>本日お配りしていない資料となりますが、鉄道・運輸機構より駅舎のレイアウトを頂いているので画面に映します。こちらのレイアウトは協議中のため変更となる場合</p>

	<p>がありますが、先ほどご説明があったように、風除室が設けられているのがわかるか と思います。</p> <p>振興局からもCGデータを頂いておりますので紹介いたします。</p> <p>(委員)</p> <p>駅舎の内装は今後の協議となるのでしょうか。</p> <p>(鉄道・運輸機構 一木 氏)</p> <p>これから建築設計の実施設計として、外観のデザインが決まった後、外装のデザインと合わせて内装を検討する流れとなっております。今後、駅舎デザインの推薦案を町から頂くこととなりますが、例えば、こういった雰囲気の内装にしてほしい、こういったものを使ってほしいというような附帯意見を、今までも各自治体から頂戴しておりますので、そのような意見がありましたら、事務局で集約していただいて、推薦案に記載していただければ、そちらを参考に協議をしながら検討を進めていく流れとなります。</p> <p>(委員)</p> <p>森林組合としてはカーボンニュートラルを進めている。持続可能な森林利用を考慮した検討をしてもらえたらと思っております。</p> <p>(会長)</p> <p>ご意見ありがとうございます。他にご意見はよろしいでしょうか。</p> <p>ご意見がないようですので、町が皆さんの意見を受け止めて、附帯意見として鉄道・運輸機構へ提言していただきたいと考えております。</p>
閉会	<p>(会長)</p> <p>それでは、本日の議題はこれで全てとなります。全体を通しまして、委員の皆さんから本日の会議に対する意見はないでしょうか。ないようですので、事務局から連絡事項等がありましたら、よろしく願いいたします。</p> <p>(事務局)</p> <p>次回の推進会議ですけれども、農業関連施設の検討につきまして先ほど頂いた意見等を事務局で整理した上で、牧歌的な風景を前提として、具体的に駅前をどのように開発していくとよいか、再度、皆様からご意見を頂くことを考えております。開催時期は未定ですが、早めに開催したいと思っております。</p> <p>(会長)</p> <p>これを持ちまして本日の推進会議を終了といたします。お忙しい中、お集まりいただきましてどうもありがとうございました。</p>